

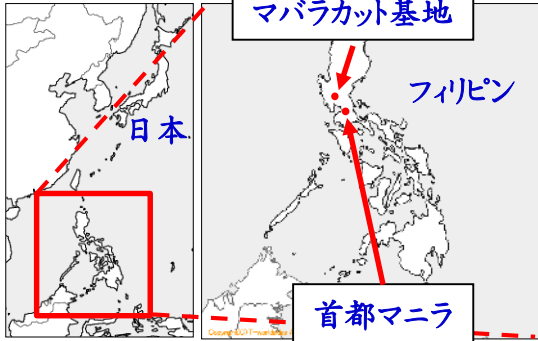


氏名 力山 茂樹(18歳) 出身 広島県  
 期別 第10期甲種飛行予科練習生(昭和17年4月土浦入隊)  
 所属部隊 第201海軍航空隊(フィピン・クラーク基地)  
 戦没日 昭和19年(1944年)10月15日  
 状況 マニラ東方海上の敵機動部隊攻撃後、基地に帰着。その直後、敵艦載機による空襲のため、迎撃命令を受け発進するが、他機の発進が間に合わず、単機で空戦中マバラカット基地上空にて被弾戦死

御恩の萬分の一も報いること無く散り行く事  
 御詫びの言葉もありません

愈々操縦桿を握って第一線の大空に雄飛する日が来しました。男子と生れ本懐之に過ぐるもの無し。此の世に生を受けてより十有余年、只我が子の為寒風身を刺す冬の日も炎熱身を焼く夏の日もお働き下された父母の恩、海よりも深く山よりも高し。その御恩の萬分の一も報いること無く散り行く事、御詫びの言葉もありません。然し此の度南方の大空に君の為、国の為我が愛機と共に生死を共にする事により忠孝の道に浴い得るものと確信して居ります。今の技量では不十分なりとも、先祖より受け継いだ此の身に漲る純粹なる真赤な血潮により、我が双肩に課せられたる過大なる重任も果たせるものと信じて居ります。もとより帝国海軍に身を投じたその日より大君に捧げた此の身は我が身にして我が身に非ざる事、御両親も胸の奥深く畳んで居られる事でしょう。国防の第一線に立つ軍人、航空戦の今日、搭乗員が仮初にも生還を期すなど夢想だにして居りません。必ず必ず御両親様の期待に沿うべく桜の如く潔ぎ良く軍人らしく御奉公し散り行く覚悟です。最後に健康を祈りつつ筆を擱きます。弟、妹の事、何卒宜敷くお願い致します。

出陣を明日に控え  
 父上様 母上様  
 一月八日夜  
 行先 「サイパン」か「グアム」何れにしても「マーシャル」  
 茂樹



兄上様  
 弟妹には優しい兄となつて下さい。怒る事の無いようにお願い致します。

昌治  
 体を充分鍛え之両親に心配を掛ける事の無い様遊ぶのは大いに遊べ煙草も欲しければ見つかからない様もう俺の様な失敗をするな呉々も頼む両親には心配を掛けるな

千恵子 美津子  
 良い成績を取り親を安心させて上げなさい。  
 そして兄妹仲良くお母様の手伝いをして上げなさい。